

### ■【トピックス】

#### 東京オリンピック賄賂疑惑！



英国のガーディアン紙が報じた東京オリンピックの賄賂疑惑ですが、テレビ各局ともガーディアン紙を引用しながら、その関係図を改変して報道しています。すべての局がガーディアン紙には記載されている「Dentsu」の文字を消しています。

前からいわれていたマスコミ・タブーの「電通批判」はここでも生きているようです。このように自主規制だらけのマスコミに真実を報道できるのか甚だ疑問ですが、ネット時代に自主規制は通用しませんね。

### ■【ビジネス・アイ】

#### 事業継続計画（BCP）！

- 社長 「熊本地震がなかなか収まらないね。地震が収束しないと復旧もままならないね」
- 花野 「そうですね。被災された方も不安で、気持ちも前向きになれないかもしれませんね」
- 社長 「そうだよね、それに企業の被災も多いね。4月にはトヨタが工場の操業を停止したしね。幸いうちの会社には影響なかったけどね」
- 花野 「災害はいつなるとき襲ってくるか分かりませんから、日ごろから緊急事態に備えておく必要がありますね」
- 社長 「うちの会社でも一応、従業員の安否確認のための非常連絡網とか、非常食なんか用意しているけどね」
- 花野 「備えることが重要ですね。御社でも一度、事業継続計画(BPC)を策定されてはどうですか？」
- 社長 「BPCってなんなの？」
- 花野 「BPCとは、簡単にいうと自然災害などに被災した時に、被害を最小限にしつつ早期に生産を復旧する事前の計画のことですね」
- 社長 「なんか難しそうだね」
- 花野 「日本では、平成18年から中小企業庁が策定の支援を始めています。新潟の中越地震や東日本大震災でも効果が実証されています」
- 社長 「そうなんだ！」
- 花野 「それに中小企業庁では、計画策定のための中小企業向けのひな形を Web サイトで公開していますので一度ご覧ください」

### ■【今月のキーワード】

#### 事業継続計画（BCP）

事業継続計画とは、イギリスで最初導入された考え方で、自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇したときに、事業資産の損害を最小限に食い止め、中核事業の継続と早期の復旧を可能とするために、常日頃から行うべき活動や緊急時の事業継続方法や手段を取り決めておく計画のことをいいます（Business Continuity Plan）。日本では中小企業庁が中小企業向けのBCP策定運用指針を公表し、計画作成のための各種ひな形をweb上に公開して、計画策定の支援を行っています。

### ■【今月の1冊】

#### 『正確な決算を早くラクに実現する経理の技30』

中尾 篤史 著

税務経理協会 ￥1,500

正確な決算をタイムリーに作成できる中小企業は管理状況が良い企業です。決算に時間がかかる企業は、日常業務に問題があります。

決算を正確に行うためには、日々の業務から徹底的に標準化し、システムチックに処理する必要があります。さらに、これを効率的に進めることが必要です。経理だけでなく、すべての仕事に共通するスキルですね。



### ■【編集後記】

公認会計士と税理士の違いをよく聞かれますが、その時は公認会計士は監査が独占業務だと答えるようにしています。監査人は他人が作成した決算書を監査するのであって、自らは作成しません。その辺りが理解していただけないことも多いですね。

#### 『経営のセカンド・オピニオン』vol.111（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2016.6.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>